

年間学習指導計画作成資料 第4学年

太字=核となる教材 ◎=鑑賞教材 ●=共通教材

大きな学習の流れ		題材名	題材のねらい	活動文	教材名	扱い時数のめやす	
巻頭	学年の歌		・年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。		子どもの世界		
	・音楽活動の楽しさを感じ取って、学習への意欲を高めるようにする。 ・八長調の旋律の視唱や視奏に慣れたり、日本の伝統音楽に親しんだりするようにする。	歌と楽器のひびきを合わせよう	・旋律の階名視唱や視奏に親しみ、声や音が重なり合う響きを感じ取って演奏することができるようにする。	リズムにのってみんなで合わせましょう。 歌と楽器のひびき合いを感じながら、えんそうしましょう。	● さくら さくら いろいろな木の実 歌のにじ ● とんび	8	
	日本の音楽に親しもう	・旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、日本の伝統音楽に親しむようにする。	きょう土の音楽をききましょう。 日本のふしを歌いましょう。	◎ 花がさ音頭／神田ばやし こきりこぶし ● まきばの朝	9		
	・音の特徴や音色の違いを感じ取ったり、これを生かして表現したりする力を育てるようにする。	いろいろな音のちがいを 感じ取ろう	・音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫することができるようにする。	いろいろな音を集めましょう。 音の組み合わせをくふうしてえんそうしましょう。 木管楽器の音をききくらべましょう。	音集め 音のカーニバル ◎ とんび／(パディネリ／ガボット／クラリネット ポルカ)	8	
	・旋律の特徴や曲想を感じ取ったり、これを生かして表現したりする力を伸ばすようにする。	ふしのとくちょうを感じ取ろう	・旋律の特徴を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・旋律の特徴を生かして、レガートやスタッカートなどの歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	ふしの感じのちがいをききくらべましょう。 ふしの感じを生かしてえんそうしましょう。 サミングをおぼえて、ふしの感じを生かしてえんそうしましょう。	● もみじ ◎ あいのあいさつ／ピチカート ポルカ 陽気な船長 あたらしい えがお オーラ リー		11
	・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	曲の気分を感じ取ろう		曲の気分を生かして歌いましょう。 様子を思いうかべながらききましょう。 曲の気分を生かしてえんそうしましょう。	友だち シンド バッド ◎ つるぎのまい 冬の歌		8
	・歌い方や楽器の演奏の仕方など、これまでの学習を生かして、友達と一緒に表現する楽しさを味わうようにする。	音をきき合って合わせよう	・声や音が重なり合う響きを感じ取って聴いたり演奏したりすることができるようにする。 ・互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫することができるようにする。	ふしの重なり合いを楽しみながら、歌ったりきいたりしましょう。 きれいなひびきで合唱しましょう。 音の重なりを感じながら合そうしましょう。	パレード ホッホー ◎ きゆう友 空に雲に おどろう楽しいポーレチケ 茶色の小びん	11	
		生き生きと歌おう	・発声や呼吸の仕方に関心をもって歌い方を工夫したり、声を揃えて歌う喜びを味わったりすることができるようにする。	リズムにのって歌いましょう。	歌よ ひびけ グッデー グッバイ		5
巻末	みんなで楽しく		・各校が実態に即して弾力的に扱うことのできる教材。		ゆりかごの歌／みかんの花さくおか／せいくらべ 風のカーニバル おかしの ゆめ 空と風のきっぷ 林の朝		
	物語と音楽				あしたがあるさ つるのおん返し		
					君が代	時数合計 60	